

日本臨床検査医学会 2021 年度 第 3 回理事会 議事録

日 時：2021 年 10 月 16 日（土）14：00～17：00

開催方法：オンライン（Zoom）

議事録署名人：村上正巳 理事長、東條尚子 副理事長、福武勝幸 監事

出席：村上正巳理事長、東條尚子副理事長、〆谷直人会計理事、宮地勇人総務理事、
山田俊幸庶務理事、古川泰司、前川真人、吉田 博、大西宏明、下 正宗、長沢光章、
矢富 裕 各理事
藤井 聡、諏訪部章、東田修二、木村秀樹、日高 洋、大澤春彦、柳原克紀 各支部理事
福武勝幸 監事 （以上 理事 19 名、監事 1 名 合計 20 名）

欠席：小柴賢洋、田部陽子 各理事
古田 耕 監事 （以上 理事 2 名、監事 1 名 合計 3 名）

I 理事長挨拶（村上正巳 理事長）

会に先立ち、逝去された次の名誉会員、功労会員を悼み黙祷が行われた。

2021 年 7 月 26 日逝去 功労会員：細萱茂実先生（東京工科大学：享年 69 歳）

2021 年 8 月 21 日逝去 名誉会員：伊藤忠一先生（岩手医科大学 名誉教授 享年 90 歳）

2021 年 9 月 5 日逝去 名誉会員：上田國寛先生（神戸常盤大学：享年 81 歳）

なお、上田國寛先生については、ご家族より公表を控えたい旨の連絡があったため、会員への訃報連絡を控えており、このタイミングでの公表となったことが申し添えられた。

その後、村上正巳理事長から挨拶があり理事会の議事を進めた。

II 報告事項

1. 支部報告

各支部の終了した例会・総会・地方会、そして例会・総会・地方会の予定、支部役員の交代、支部での検査関係の教授、部長、技師長の退任・新任等について報告があった。

2. 各種委員会報告

1) 学術推進化委員会（矢富 裕 担当理事）

2022 年度学術推進化プロジェクト課題募集要項が示され、2022 年 1 月 4 日～3 月 31 日に応募を受付けることが報告された。なお、例年と同様の募集内容のうち、応募資格要件に関して教授、部長、技師長など部門のトップでないことが条件であるが、応募時にそれに該当しなかったが審査までに該当するようになった場合は、対象者から除くこととしたことが報告され、理事会でも確認された。

2) 編集委員会（吉田 博 担当理事）

和文誌「日本臨床検査医学会誌」は誌名改称およびサイズ変更、表紙に関して、評議員にアンケート調査をしたこと、その他結果、誌名、サイズについては良いとの評価であったが、表紙については、良いが 6 割程度だったためあらたなデザインを検討することとなったこと、英文誌発刊準備のため、J-Stage への登載、ISSN の取得手続きを進めていること、また、ランニングコスト等の経費の見積りをして検討していること、WEB 座談会、トピックス企画を検討していること、投稿論文の審査状況の確認、査読については評議員に通知して挙手制を採用し審査期間の改善がみられたこと等が報告された。

3) 教育委員会（山田俊幸 担当理事）

8 月 1 日（日）に、第 5 回ハンズオンセミナーをワークライフバランス委員会、近畿支部主催で教育委員会、日本医師会共催で開催したこと、

第 68 回学術集会において教育委員会企画として、11 月 13 日（土）に、RCPC 1、RCPC2（それぞれ臨床検査領域講習 1 単位）、11 月 14 日（日）に、Catch Up セミナー（臨床検査領域講習 3 単位（各 1 単位））を予定していること、常設 e-learning について、4 つのコンテンツを準備しており、「エデン株式会社」に運営を委託予定であること、なお、このコンテンツは一つ 20 分であるため臨床検査領域講習ではなく、診療実績の単位の代替とすることを検討していることが報告された。

4) 臨床検査点数委員会（東條尚子 担当理事、古川泰司 委員長）

診療報酬改定に向けての提案書について、8 月 2 日に厚生労働省とのヒアリングが行われたこと、日本医師会・疑義解釈委員会（月 2 回開催）からの供給停止予定の体外診断薬連絡に対して、今年度、現時点で異議申し立てはななく問題なしで回答していることが報告された。

5) 学会賞委員会（田部陽子担当理事欠席のため山田俊幸庶務理事）

2021 年 8 月 17 日（火）に委員会を開催して受賞候補者を選出し、理事会に報告を行い、理事会にて受賞者〔学術賞（菊地良介氏）、検査・技術賞（該当者なし）、若手研究者奨励賞（鈴木敦夫氏、藤森祐多氏、相原正宗氏、水野元貴氏、川元康嗣氏）、優秀論文賞（松本信也氏、越智小枝氏）〕が承認され決定したこと、学会賞募集要項の一部変更、若手研究者奨励賞と優秀論文賞の選考方法に関して、理事会での審議を依頼したことが報告された。

6) 精度管理委員会（山田俊幸 委員長）

2021 年度 CAP 国際臨床検査成績評価プログラムへの参加は 198 施設で、前年より、ほぼ COVID-19 関連検査への参加により 77 施設増加し、遺伝子関連検査への参加は横バイであったこと、COVID-19 関連サーベイの一覧が示された。季刊誌として臨床検査グローバルニュースが、4、7、10、1 月に順調に発行されていること、以上が報告された。

7) ガイドライン作成委員会（吉田 博 担当理事、大西宏明 委員長）

今年中の改訂ガイドライン発行に向け、全ての原稿が入稿され、大部分について査読も終了しており、今回新たな項「あるべき臨床検査室の姿」については、臨床検査室医療評価委員会に協力いただき、製作作業が最終段階に入っていること、ガイドライン転載許可依頼が 3 件あり、すべて承諾したこと、第 68 回学術集会期間中の 11 月 12 日（金）14 時からオンラインで委員会を開催する予定であること、11 月 13 日に開催される日本医療機能評価機構主催の「【Minds】第 23 回診療ガイドライン作成に関する意見交換会」に、吉田担当理事、大西委員長のいずれかが参加予定であることが報告された。

8) 広報委員会報告（谷直人担当理事）

JACLaS での臨床検査医学会の展示に、「新型コロナウイルス、検査の課題と本学会の対応」を紹介するコーナーを設置して資料配布をしたこと、また、第 68 回学術集会ポスターを掲示したこと、臨床検査振興協議会が主催となり臨床検査の正しい知識を市民に訴えるため「11 月 11 日臨床検査の日」にオンラインのイベントを開催する予定であり、「りんしょう犬さん」関連グッズの提供、twitter を介した新型コロナウイルス検査に関する情報提供等が予定されていることが報告された。

9) 遺伝子委員会報告（前川真人委員長）

倫理委員会で改訂中の「臨床検査を終了した 既存試料（残余検体）の研究、業務、教育のための使用について—日本臨床検査医学会の見解」について委員会で意見聴取を行い倫理委員会へ提出したこと、ISO/TC 215/SC 1 の新規作業項目提案について委員会で意見聴取を行い提出を行ったこと、日本医学会医学用語管理委員会で進められていた遺伝学用語改訂の最終報告について、確認のうえ承認の回答を行ったこと、日本病理学会と合同の WG「がんゲノム検査全般に関する指針」策定に関する作業は、しばらく中断していたが、病理学会から文書作業再開の連絡が入り、最終報告に向けて活動を再開したこと、「FoundationOneR Liquid CDx がんゲノムプロファイル」が 2021 年 8 月に保険収載されたことから、血液など体液を試料とするリキッドバイオプシー検査の質保証について、さらに検討を進め、NIPT 等の出生前検査に関しても、検査の質保証の観点から議論していく予定であること、委員会は次学術集会とは別に、Web 開催する予定であることが報告された。

10) 医療安全委員会（大西宏明 担当理事）

第 68 回学術集集中、11 月 12 日に、医療安全委員会企画（機構専門医の共通講習）として、テーマ「ウィズコロナ・アフターコロナの臨床検査：何が変わり、何が変わらないのか」を開催予定であること、同日に委員会開催予定であること、11 月 23 日に、「医療安全全国フォーラム 2021」（web セミナー）に、藤井聡委員長が参加予定であることが報告された。

11) チーム医療委員会（田部陽子担当理事欠席のため山田俊幸庶務理事）

「在宅医療」「タスクシフト」「COVID-19 対応」におけるチーム医療への参画について次のステップを検討していること、医療安全の面から医療現場に反映させる方向で、「パニック値の運用」に関する提言をまとめ、関連団体（日衛協等）の意見交換を経て、まもなく公開する予定であること、今後、「施設間のパニック値の設定の差異」、「提言を受けた現場対応の変化」について全国調査を実施予定であることが報告された。

12) ワークライフバランス委員会（山田俊幸 担当理事）

2021 年 1 月～10 月に、臨床検査専門医取得に関するサポートセンターに 12 件の問合せがあり回答したこと、8 月 1 日（日）に、第 5 回 ハンズオンセミナーをワークライフバランス委員会主催、近畿支部、教育委員会、日本臨床検査専門医会、日本医師会共催で Web 開催したこと、第 68 回学術集会でワークショップ（RCPC challenge、臨床検査医 交流・向上ワーキンググループ企画）を実施する予定であることが報告された。

13) 新型コロナウイルスに関するアドホック委員会（柳原克紀 委員長）

下記の提言を作成し、公表したことが報告された。

①COVID-19 における抗体検査についての基本的な考え方（改訂版）（2021 年 8 月 24 日）

3. 第 68 回学術集会報告（富山 2021/11/11(木)～11/14（日）、北島勲 会長）（山田俊幸 庶務理事）

2021 年 11 月 11 日（木）～14 日（日）に、富山国際会議場、富山市民プラザにおいて、北島勲会長（富山大）ならびに仁井見英樹副会長（富山大）のもと、テーマ「学術的な臨床検査医学のおもしろさを広げよう！」として、下記にて開催予定であることが報告された。

- ・委員会企画、シンポジウム、特別講演 2 題、教育講演 2 題については、現地、WEB（リアルタイムとオンデマンド）で、一般演題 239 題はポスター発表（音声付 PPT 動画）で座長を付け、チャット欄にコメントを必ず入れ、演者もチャットで回答する。
- ・懇親会は中止とした。
- ・ランチョン共催 11 社、機器展示 3 社が協賛。

4. 第 69 回学術集会報告（宇都宮 2022/11/17(木)～11/20(日)、山田俊幸 会長）

2022 年 11 月 17 日（木）～20 日（日）に、栃木県総合文化センター（メイン）、宇都宮東武ホテルグランデ（サブ）において、山田俊幸会長（自治医大）のもと、テーマ「地域社会に貢献する臨床検査」として開催予定であり、運営会社は（株）サンプラネットに依頼をしたこと、可能であれば対面開催したいこと等が報告された。

5. 第 70 回学術集会報告（長崎、柳原克紀 会長）

会期については、2 候補を仮予約しているが、例年の開催時期と合わせて、2023 年 11 月 16（木）～19 日（日）に、出島メッセ長崎（長崎）、運営会社は（株）コンベンションリンケージを検討していることが報告された。

6. 本学会からの関連団体委員推薦について（更新）（村上正巳 理事長）

前回、理事会 7 月 3 日以降の当会からの下記派遣委員（敬称略）等について報告された。

- 1) 厚生労働省医政局医事課 医師の働き方改革における C・2 水準モデル審査における模擬審査委員会 委員
山田俊幸（2021/10/14 に推薦）
- 2) 日本専門医機構 研修検討委員会(プログラム等)委員・専門医検討委員会(認定・更新) 委員
山田俊幸（2021/7/26 に推薦）
- 3) 認定血液検査技師・認定骨髄検査技師制度

審議会委員：海渡 健（任期：2021/5/1～2023/4/30）

協議会委員：小池由佳子（任期：2021/5/1～2023/4/30）

7. 第38回臨床検査専門医認定試験結果について（東田修二実行委員長）

2021年8月22日（日）、東京医科歯科大学医学部にて機構臨床検査専門医、学会臨床検査専門医認定試験を実施した。受験者は、機構専門医受験者3名、学会初回受験者4名、2020年のコロナによる学会振替受験者3名（内1名は体調不良により欠席）、再試験受験者（科目受験）4名（内1名は体調不良により欠席）の合計12名。2名は欠席。機構専門医3名、学会専門医7名、合計10名が合格した。以上が報告された。

8. 第13回臨床検査管理医講習・認定試験（東京 2021/8/22（日））（山田俊幸 実行委員長）

2021年8月22日（日）、東京医科歯科大学医学部にて臨床検査管理医認定試験を実施し、22名（当初の受験希望者38名、内16名が受験辞退）が受験し22名が合格したことが報告された。

9. 臨床検査専門医関連事項について（山田俊幸 専門医担当理事）

1) 2027年1月1日付からの日本専門医機構基本領域臨床検査専門医更新基準について、共通講習は必須が3単位から8単位（8項目）となること、更新試験が必須となること、多様な地域における診療実績が必須となることが報告された。

2) 日本専門医機構が認定する基本領域専門医が、2021年10月1日から広告可能となったことが報告された。ただ、学会専門医は従来通り対象外となることが報告された。

10. 第12回日本臨床検査医学会特別例会長の推薦について（村上正巳 理事長）

2023年4月、東京（東京国際フォーラム中心）において開催される第31回日本医学会総会に合わせて、当会の第12回特別例会を開催するにあたり、関東・甲信越支部に特別例会長の推薦依頼がなされた。

11. 日本臨床検査同学院報告（宮地勇人 日本臨床検査同学院 理事長）

一級臨床検査士資格認定試験、二級・緊急臨床検査士資格認定試験、遺伝子分析科学認定士資格認定試験、POCT測定認定士資格認定試験の実施状況と結果について、試験の実施と今後の予定として、微生物学、病理学、循環生理学は2022年実施に延期、臨床化学、血液学、神経生理学は2021年内に実施予定であること、第37回「緒方富雄賞」選考結果、贈呈式、記念講演会の実施について、第68回日本臨床検査医学会学術集会で共催シンポジウム：テーマ 「新たな時代に向けた臨床検査領域の人材育成」を開催予定であること等が報告された。

12. 臨床検査振興協議会報告（村上正巳 臨床検査振興協議会 理事長）

在宅医療における臨床検査に関する小委員会、遺伝子関連検査に関する小委員会、感染症対策に関する小委員会、広報委員会、大規模災害対策委員会、将来ビジョン検討委員会の活動報告、法人化に向けた活動・ウェブサイト改訂、定款・規程の作成、事務所探索を進めており、次回理事会（2021年11月24日）に詳細を提示する予定であることが報告された。

13. アルブミンドライケミストリーBCG法試薬の添付文書改訂について（村上正巳 理事長）

アルブミンBCG法による測定の経過措置について、令和4年4月1日以降もドライケミストリーBCG法での測定は従来通り算定できるよう要望書を提出しているが、BCG法測定はアルブミン特異度の差により一部の疾患で測定結果に影響があるため、ドライケミストリーBCG法試薬についてはBCP改良法に切り替えを図ることが適切である。アルブミンBCG法製造販売企業は、BCG法からBCP改良法への切り替えを最優先事項として努めていただいたうえ、一部の疾患における測定結果への影響について留意することを各ドライケミストリーBCG法試薬の添付文書に追記いただくことを臨床検査振興協議会に要望したことが報告された。

14. その他

特になし。

Ⅲ 審議事項

1. 2021 年度中間事業報告について（山田俊幸 庶務理事）

2021 年度中間の事業報告がなされ、承認された。

2. 2022 年度事業計画案について（山田俊幸 庶務理事）

2022 年度事業計画（案）の説明がなされ、承認された。

3. 2021 年度中間実績報告・2022 年度予算案について（谷直人 会計理事、村上正巳 理事長）

2021 年度中間実績は、2022/1/1～2021/6/30 までの実績額での報告である。

2022 年度予算案については、2021 年度を踏襲したが、2022 年度は英文誌制作を予定しているがこの予算については、実際の経費がわかってから補正予算を組んで対応することが報告された。

以上が報告され、審議のうえ承認された。

4. 「臨床検査を終了した 既存試料（残余検体）の研究、業務、教育のための使用について

－日本臨床検査医学会の見解－ 2021 年改訂（案）について（村上正巳理事長、古川泰司担当理事）

2021 年 7 月 3 日の第 2 回理事会後の理事、遺伝子委員会からの意見を反映させた見解が提示され、承認された。

5. パニック値運用に関する提言（案）、パニック値一覧（別表）について（村上正巳 理事長）

2021 年 7 月 3 日の第 2 回理事会後に臨床検査振興協議会構成団体に意見を求め、その意見を検討したが、特に訂正はなかったことが報告され、今後の公表方法については提言暫定版、一覧については例など適切な表示方法を検討し、意見を寄せていただくようにする提案があり、本件は再検討することを前提に承認された。

6. 地域医療における臨床検査に関するアドホック委員会委員について（村上正巳 理事長、山田俊幸 担当理事）

委員会名について、当初「地域の臨床検査に関するアドホック委員会（仮称）」だったが、「地域医療における臨床検査に関するアドホック委員会」とし、各支部から推薦された委員で委員会を組織することについて承認された。なお、11 月初旬に初回委員会を開催予定であることが報告された。

7. 国際委員会委員の追加について（村上正巳 理事長）

国際委員会委員 1 名の追加が提案され承認された。

8. 2022 年度からの名誉会員・功労会員・社員（評議員）の推薦について（村上正巳 理事長）

名誉会員、功労会員、評議員の推薦について資格要件が確認され、次の通り、名誉会員、功労会員、評議員として承認された。

1) 名誉会員として、追加で水口國雄先生、合わせて合計 5 名。

2) 功労会員として、関東・甲信越支部から大久保滋夫先生、北村聖先生、佐藤尚武先生、下村登規夫先生、谷口信行先生、菱沼昭先生、福地邦彦先生、松浦知和先生の 8 名、東海・北陸支部から石井潤一先生、竹下明裕先生の 2 名、近畿支部から長坂徹郎先生、林伸英先生、藤田直久先生の 3 名、九州支部から中島収先生 1 名、合計 14 名。

3) 評議員として、北海道支部から梅森祥央先生、幸村近先生の 2 名、東北支部から藤巻慎一先生、関東・甲信越支部から出居真由美先生、堀内裕紀先生、村田光繁先生、上蓑良則先生、葭田明弘先生、岩津好隆先生、佐藤正一先生、岩津好隆先生、千葉泰彦先生の 8 名、九州支部から梅北邦彦先生、後藤和人先生、神力悟先生の 3 名、合計 14 名。

9. 評議員（社員）再任予定者(2022/01/01 付)について（村上正巳 理事長）

2022 年 1 月 1 日付評議員再任予定者 44 名が提示された。再任手続きは、2021 年 12 月 25 日開催予定の評議員審査委員会での審査、審議会後となるが、評議員再任には社員総会の承認が必要のため、本理事会、2021 年 11 月 11 日の臨時社員総会の承認を得ておきたい。ただし、再任の単位を満たさない場合は退任となることを前提のうえ、2022 年 1 月 1 日付の評議員再任予定者 44 名について承認された。

10. 第31回 World Congress of WASPaLMについて（村上正巳 理事長）

第31回 World Congress of WASPaLM が、2022年5月5日～8日に、Punta del Este, Uruguay（ウルグアイ）で、テーマ「Pathology and Laboratory Medicine, beyond technology and health care」として開催予定であることが報告され、当学会へのシンポジウム企画依頼について協議され、案を提案いただくことが要望された。

11. 2022年度各契約更新について（村上正巳 理事長）

2022年度、次項の契約更新について確認のうえ承認された。

- ・顧問（弁護士：古川俊治先生、会計：野澤孝志先生）
- ・日本臨床検査医学会誌編集製作：宇宙堂八木書店
- ・事務委託：宇宙堂八木書店
- ・広告募集：日本廣業社、福田商店広告部、学術広告社
- ・外部販売：克誠堂出版が辞退のため宇宙堂八木書店に委託する。

12. その他（山田俊幸 庶務理事）

2021年度理事会、2022年度定時社員総会予定が報告された。

- ・2021年度第3回審議会 2021/12/25（土）10：30～12：30
- ・2021年度第4回理事会 2021/12/25（土）13：30～16：30
- ・2022年度第1回理事会、定時社員総会 2022/3/27（日）

IV 閉会の挨拶（東條尚子 副理事長）

東條尚子副理事長より閉会の言葉があり本理事会は閉会された。

以上

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し出席理事長、副理事長及び監事がこれに記名押印する

2022年1月19日

一般社団法人日本臨床検査医学会 理事会

議長 理事長 村上正巳

副理事長 東條尚子

監事 福武勝幸